

TOSHIBA 東芝浴室換気乾燥機取付説明書

形名 (2部屋換気用・24時間換気タイプ) 販売店・各種工事店さま用

DVB-18SWD₃シリーズ
DVB-18SW₃
 (3部屋換気用・24時間換気タイプ)
DVB-18STD₃シリーズ
DVB-18ST₃

特定保守製品

日本国内専用品
Use only in Japan

●この浴室換気乾燥機の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。
 (本製品は(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

●本説明書は浴室換気乾燥機の取り付けと関連工事(建設工事)である大工工事、電気工事、配管工事などを区別して説明しています。
 建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。流通業者(販売店)を通して浴室換気乾燥機の取り付けを行う場合は、建設工事部分と区別して行ってください。
 ●この取付説明書は設置完了後、別冊の取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であることを、使用状況からみてその適切な保守を促進するものが適当なもの」として、法令で定めるもの」です。
- 付属の取扱説明書と所有者票(黄色ラベルが貼付してあるビニール袋に入っています)は、所有者(消費者、賃貸業者)に必ずお渡しください。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

安全上のご注意

- 取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■表示の説明		■図記号の説明	
表示	表示の意味	図記号	図記号の意味
	「取り扱いを誤った場合、使用者が死または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示します。		○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに貼や文書で指示します。
	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷(※2)を負うことが想定されるか、または物的損傷(※3)の発生が想定される内容」を示します。		●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに貼や文書で指示します。

※1重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に長期入院を要するものを指します。
 ※2軽傷とは、治療に長期入院を要しないけが、やけど、感電などを指します。
 ※3物的損傷とは、家具・家財および家電、ペイント等にかかる最大損傷を指します。

●取付設置完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
 また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。		本体各部やリモコンに水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により火災・感電の原因になります。	
煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分な空気取入口を別に付ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起す原因になります。		修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理(※)をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。	
メタルス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造管物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける 漏電したとき、火災・感電の原因になります。		アースを確実に取り付け、漏電遮断器を設ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。	
内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起す原因になります。		電源用SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない 火災・感電の原因になります。	
電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。		取り付け・移設は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する 取付工事が不完全なときは、火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。	

注意

電気工事・アース工事は電気工事士(※)が行う 電気工事士以外の方が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士の依頼は、お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。		電源電線の接続は電気設備技術基準や内線規程に従って、安全・確実に行う 電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 接続不良や誤った配線工事は火災や感電の原因になります。	
本体は、十分に強度のあるところに確実に取り付け 落下によりけがの原因になります。		炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります	
浴室内にはリモコンを取り付けない 感電や故障の原因になります。		本体カバーや部品は、確実に取り付け 落下によりけがの原因になります。	
取り付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。		電源電線は専用の分岐ブレーカー(20A)より配線する 他の機器と併用した場合、電源電線が発熱し火災の原因になります。	
製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。		ファンヒーターに触れたり、指や物を入れない 感電、けが、やけどの原因になります。	
電源用SL端子にはトイレ(外部)スイッチ運動用接続電線を接続しない トイレ(外部)スイッチが焼損し、火災の原因になります。		本体仮止め機構は一時的な固定なので、仮止めのまま放置しない 本体落下によりけがの原因になります。	

取付上のお願

- 故障の原因となりますので、次のような場所には取り付けないでください。
 1. 高温(40℃以上)になる場所
 2. 台所など油煙の発生する場所
 3. 有機溶剤やスプレーを使う場所
 4. 腐食性ガスの発生する場所(温泉、プールなど)
 5. スチームサウナ付浴室

- 本体を断熱材で覆わないでください。
- 次のようなダクト配管工事はしないでください。
風量低下や異常音発生の原因になります。

- (1) 極端な曲げ
- (2) 多数回の曲げ
- (3) 接続ダクト径を極端に小さくする
- (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ

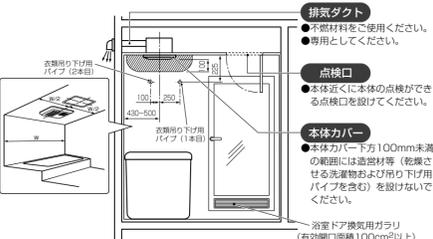


- この製品は浴室の天井取り付け専用です。
標準適合サイズは1616サイズのユニットバスです。浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、その他断熱が悪い場合、予備暖房・乾燥効果が減少します。
- この製品は2部屋または3部屋換気専用です。
浴室ダンパーが開いているときに換気すると、故障の原因になりますので、1部屋(浴室のみ)では使用しないでください。
- この製品は住宅の24時間換気システムとして使用できます。
その場合には、居室と居室以外の部屋とを隔てている建具の換気経路(有効開口面積で100~150cm²)を確保する必要があります。
- 雨水や鳥などの侵入を防ぐためのフード(システム部材)などを取り付けてください。
- 本体は天井の上に置いて取り付けないでください。
本体や本体カバーが正しく取り付けられません。

- 製品の取り付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。
・地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。

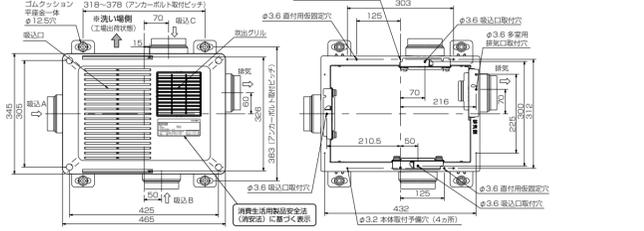
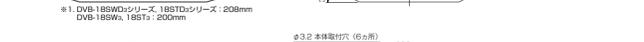
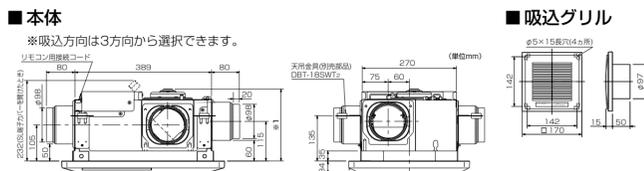
●本製品は消防法基準適合品です。(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

- 2本目の衣類用り下げ用パイプを取り付けていただくと乾燥時間が短くなります。
- 本体および衣類用り下げ用パイプ(市販品)の設置は上図の寸法の位置に取り付けてください。
- 電源電線、リモコンコードは本体がおろせるように2m以上の余裕をもちせてください。(短いメンテナンスできません)
- 空気の取入口(浴室ドア換気用ララリなど)を設けてください。
有効開口面積100cm²以上



製品寸法

イラストはDVB-18STD₃シリーズ(3部屋換気用)

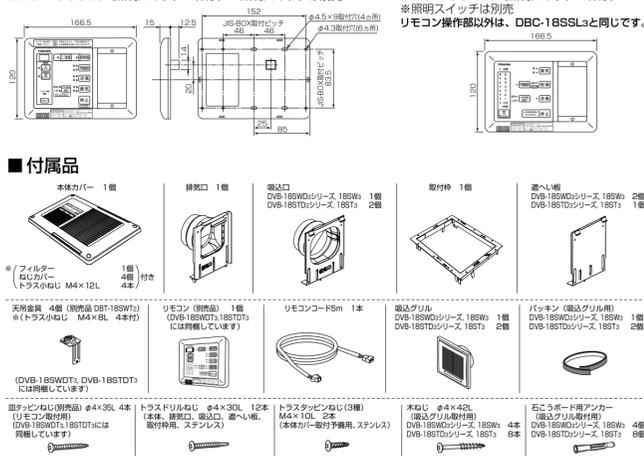


■リモコン(別売品)

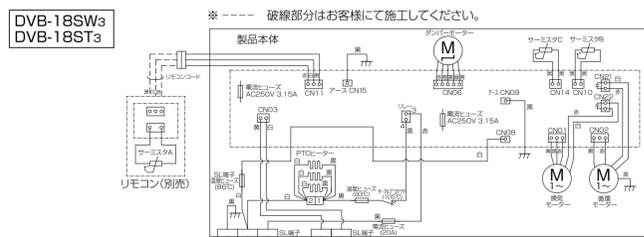
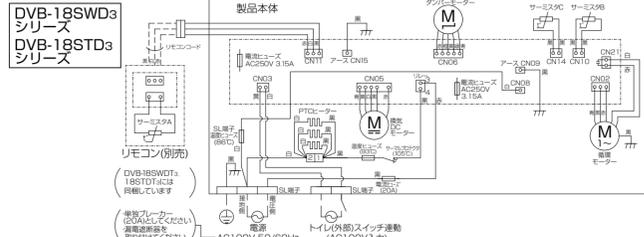
DVB-18SWD₃シリーズ、18STD₃シリーズ専用
 DBC-18SS₃(DVB-18SWDT₃、18STD₃T₃には同梱しています)



■付属品

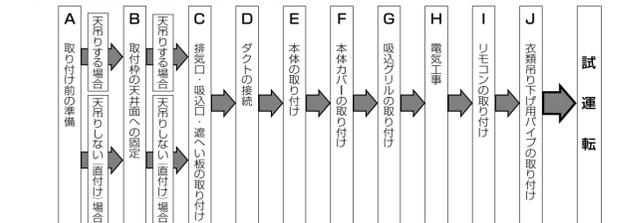


結線図



施工手順

- 取り付け前に本体に、変形などの異常がないか確認してください。
- 取り付け時、板金部品の端面で手を滑らせる手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。
- 製品を天井りする場合としない場合で施工方法が異なりますので事前に確認してください。
*天井りする場合は、別売品の天井金具(DBT-18SWT₂)が必要となります。
DVB-18SWDT₃とDVB-18STD₃T₃には同梱しています。



- 保守点検のため、点検口を必ず設けてください。
- 本体の取り付けと電気工事の工事区分が異なる場合、本書(取付説明書)および関連部品を確実に電気工事業者へお渡しください。
- 試運転の前に再度、本体の取り付けと電源接続やアース工事が確実にされているか確認してください。
- 電気工事で天井のふところが狭い場合、電源接続は本体の取り付け前に行つか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

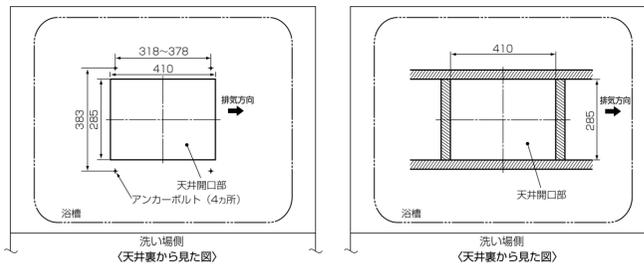
取り付け方法

A 取り付け前の準備

- 1 本体の取付方向・位置を決めます。
●本体取り付けの推奨位置は右図のとおりです。
●吹出グリルの向きは4方向に変えることができます。
-
- 2 浴室の天井に410×285mmの開口部を設けます。
●ユニットバス天井裏に1mm以上の厚みの金属製補強材が取り付けられている場合は下穴加工(φ3)をし、天井面に切りくずなどが残らないよう注意してください。
●天井板が塩ビ鋼板の場合には、開口部に錆び止め処理を施してください。

天井りする場合
*天井金具(別売DBT-18SWT₂)を購入してください。(DVB-18SWDT₃、18STD₃T₃には同梱しています。)

天井りしない(直付け)場合
内寸が下図の寸法になるように天井補強材を設けます。



※補強材は天井板を含め35mm以下としてください。これ以上厚くなると、施工・メンテナンスができません。
お 製品の質量(約10kg)に十分耐えるように、補強材は天井にしっかり固定してください。

B 取付枠の天井面への固定

- 天井りする場合
*天井金具(別売DBT-18SWT₂)を挿入してください。(DVB-18SWDT₃、18STD₃T₃には同梱しています。)
- 1 天井金具をアンカーボルトに差し込み、市販のナットで仮固定します。(4カ所)
- お願い ●仮固定時は、天井金具が上下に移動できるようにナットと天井金具にゆとりをもたせておいてください。
- 2 排気方向を確認して天井開口部に、取付枠を挿入し、仮固定ツメ(2カ所)を折り曲げて、仮固定します。
- 注意 排気方向を確認して取付枠を取り付ける
- 3 天井金具に仮止めされているトラス小ねじを取付枠のダルマ穴に引っ掛けてください。(4カ所)
- 注意 ねじを確実に固定する
確実に固定しないと製品落下の原因になります。
- 4 天井金具に仮止めされているトラス小ねじで確実に取付枠と固定してください。
- 注意 取付枠のフランジ面と天井面を密着させる
密着していないと湿気漏れや、本体カバーと天井面の隙間の原因になります。
- 5 取付枠のフランジ面と天井面が隙間なく密着するように、下側のナットをしっかりと締め上げて、上側のナットで確実に固定します。

天井りしない(直付け)場合

- 1 排気方向を確認して天井開口部に取付枠を挿入し、仮固定ツメ(2カ所)を折り曲げて、仮固定します。
- 注意 排気方向を確認して取付枠を取り付ける
- 2 取付枠を付属のトラスドリルねじ(2本、φ4×30L)で直付け止用位置に固定します。
- 注意 取付枠のフランジ面と天井面が隙間なく密着するように、手で押さえながらねじで固定する

C 排気口・吸込口・遮へい板の取り付け

- 注意 吸込口のアルミ製シャッターに貼ってある水色テープ(輸送時固定用)をシャッターが外れたり、変形しないようにゆっくりはがす
- 1 排気口・吸込口・遮へい板のねじ固定位置を確認します。
-
- ※吸込口・遮へい板は吸込口の刻印位置(3カ所)に固定してください。
- ※排気口は多室用の刻印位置に固定してください。
- 2 取付枠に排気口・吸込口・遮へい板を付属のトラスドリルねじ(4本、φ4×30L)で固定します。
※イラストは3部屋換気用です。
- 注意 取付枠のフランジ面と天井面が隙間なく密着するように、手で押さえながらねじで固定する

D ダクトの接続

- ダクト(不燃材料)を排気口・吸込口に差し込み、風漏れないようテーピングします。
- 注意 ●排気と吸込の方向を間違えないよう接続する
●ダクトのビス打ち固定はシャッター開閉不良の原因となるので行わない
-
- お ●配管時にダクトにかがからないようにしてください。
●排気側ダクトは結露水の逆流を防ぐため、室外側を下げて取り付けてください。(勾配1/100~1/150)
●ダクトは製品本体にかがからないように、天井裏のスラブより用してください。
●ダクト配管工事は施工業者へ依頼してください。

E 本体の取り付け

- 1 仮固定金具を掛けた状態で本体を天井開口部の取付枠に水平に挿入し、排気口・吸込口・遮へい板・取付枠の下部のツメが、本体フランジの長穴にはまり込むように取り付け、本体の仮固定金具(2個)を回転させ、仮固定金具の穴部を取付枠のツメに引っ掛けて本体を仮固定します。

お願い

- 仮固定金具を掛けた状態で本体を挿入してください。本体を無理に入れようとする、仮固定金具が変形します。
- 仮固定金具を回転させて、仮固定を行わないと、本体カバーを取り付けることができません。

注意

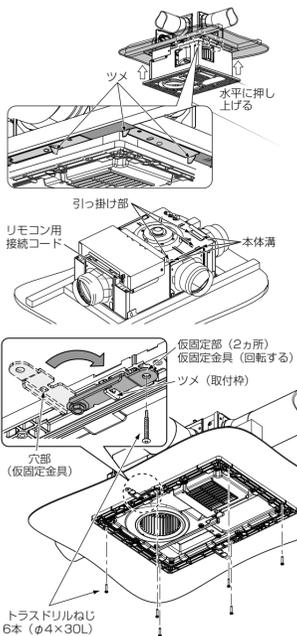
- 上部の引っ掛け部と下部のツメはそれぞれ確実にはめこむ。本体との密着が確実でない、湿気漏れや本体カバーと天井面の隙間の原因になります。
- 取り付けの際、リモコンコード類を挟みこまない。

- 2 本体上面の溝と排気口・吸込口・遮へい板の上部の引っ掛け部がはまり込んでいることを確認してください。

注意

- 本体の仮固定は確実に行う。仮固定金具の引っ掛けが不十分だと、本体落下により、けがの原因になります。
- 本体仮止め機構は一時的な固定なので、仮止めたまま放置しない。本体落下により、けがの原因になります。

- 3 仮固定部2カ所を付属のトラスドリルねじ(2本、φ4×30L)で本体と仮固定金具を共締めにて確実に固定してください。
- 4 残りの4カ所を付属のトラスドリルねじ(4本、φ4×30L)で確実に固定してください。



F 本体カバーの取り付け

- 1 本体カバーからフィルターをはずします。

お願い

- フィルターは、洗い場側からしかはずせませんので、取り付け前にはずしてください。

- 2 本体カバーは吹出グリルとヒーター部の位置を合わせて取り付けてください。また、吹出グリルの凸部が洗い場側になるように向きを変えてください。

注意

- 吹出グリルとヒーター部の位置を合わせる正しく取り付けないと部品の変形の原因になります。

- 3 本体カバーに付いているねじカバー(4個)をはずし、あらかじめ取り付けられているトラスねじ(4本、M4×12L)で本体カバーを固定してください。

お願い

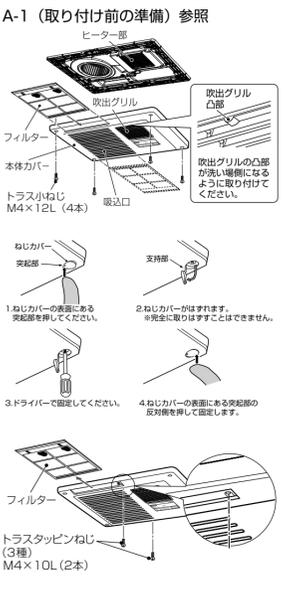
- ねじカバーの支持部を引っ張ったり、曲げるなどの力を加えないでください。

- 4 本体カバー(取付準備ねじを締める場合は、付属のトラススタッピンねじ(3種)(2本、M4×10L)で薄肉部(2カ所)を貫通させて固定してください。

お願い

- 本体カバーのねじ固定は必ず手締めで行ってください。電動ドライバーなどで強く締め付けると、本体カバーが割れることがあります。
- 本体カバー(取付準備ねじ)の固定は天井面と本体カバーの隙間が気になる場合に行ってください。

- 5 フィルターを洗い場側から差し込みます。



G 吸込グリルの取り付け

- 1 吸込ダクト(不燃材料)をトイレ・洗面所の天井材の開口部まで配管します。
- 2 天井材を張り、取り付け位置に右図を参照して開口部と取付下穴(φ6)を開けます。
- 3 取付下穴に付属の石こうボード用アンカー(4本)を差し込みます。

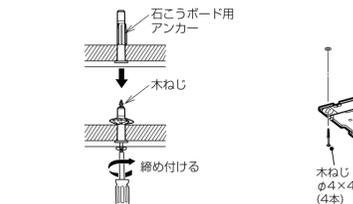
お願い

- 野線に取り付ける場合は、付属の木ねじのみご使用ください。
- 天井板の厚みが12mmを超える場合は石こうボード用アンカーは使えません。

- 4 グリルと取付枠をはずし、付属のバックンを取付枠に貼り付けます。

- 5 取付枠をダクトにはめ込みます。

- 6 付属の木ねじ(4本、φ4×42L)で石こうボード用アンカーの位置に固定します。



お願い

- ねじの締めすぎに注意してください。締め込みすぎると天井材が破損したり、クロスが破れる原因になります。

- 7 グリルと付属のフィルターを落下防止用ワイヤーをかみこまぬように取付枠に取り付けます。

H 電気工事

警告 ●電源は単相AC100Vを使用する

注意

- 電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、電気工事が行う
- アース工事はD種接地工事に基いて確実に行う
- 電源電線および接続電線の接続は確実に行う
- 電源電線は専用の分岐ブレーカー(20A)より配線する
- アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける

お願い

- 専用の漏電遮断器を設置の場合は、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下)のものをお選びください。
- 天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

■配線図
太線部を配線してください。
電源電線・アース線は2m以上の余裕をもって配線してください。

注意

- より線は接続不良により発熱の恐れがあるため使用しない。SL端子はφ1.6またはφ2mmの単線専用です。

電源電線・アース線の接続

警告 ●電源用SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない。感電・発煙・発火の原因になります。

注意 ●電源用SL端子にはトイレ(外部)スイッチ運動用接続電線を接続しない。トイレ(外部)スイッチが発煙・発火する原因になります。

- 1 ねじ1本をゆるめSL端子カバーを開けます。
- 2 電源電線を接続します。電源用SL端子にAC100Vの電源電線(VVFケーブルφ1.6またはφ2mm)の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。●電線先端の皮むき寸法は15mmです。●電線外皮は30mmむいてください。
- 3 電源用SL端子のアース識別ラベルをはがし、アース接続部にアース線を接続します。
- 4 SL端子カバーを閉じて、ねじで固定します。
- 5 電源電線とアース線をコードクリップで束ねます。

お願い

- モータ部周辺に近づけないように配線してください。ノイズによる誤動作の原因になります。

- 6 電源電線とアース線を固定します。コード止めのねじをはずし、電源電線とアース線をまとめてコード止めにはさみ、はずしたねじで固定します。

トイレ(外部)スイッチを使用する場合

注意 ●電源用SL端子にはトイレ(外部)スイッチ運動用接続電線を接続しない。トイレ(外部)スイッチが発煙・発火する原因になります。

トイレ(外部)スイッチに適用可能な市販スイッチ

●トイレ(外部)スイッチは、浴室換気乾燥機本体の換気ファンをトイレ/洗面所から「運転/停止」するために設置するスイッチです。

- 7 識別ラベルをはがし接続電線を接続します。トイレ(外部)スイッチ用SL端子にAC100Vの接続電線(VVFケーブルφ1.6またはφ2mm)の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。●電線先端の皮むき寸法は15mmです。●電線外皮は30mmむいてください。

- 8 接続電線を固定します。電源電線と同様に、コードクリップで束ねてコード止めで固定します。

お願い

- モータ部周辺に近づけないように配線してください。ノイズによる誤動作の原因になる恐れがあります。

■トイレ(外部)スイッチに適用可能な市販スイッチ

●トイレ、洗面所の「換気スイッチ」としてパイロットランプ付の2線式スイッチを使用する場合は、下表の(低ワット)スイッチを使用してください。
●「換気スイッチ」を「照明スイッチ」と兼用する場合は、スイッチの定格は照明器の消費電力に合わせて下表より選定してください。
●下表は2015年5月現在のもので、形名が変更される場合があります。また、使用の可否は弊社確認によるものですので、スイッチメーカーへのお問い合わせはご遠慮ください。

●パイロットランプなしスイッチ
一般的な片切・3路兼用スイッチ(AC100V~300V)が使用できます。

●パイロットランプ付(オンピカタイプ)スイッチ

メーカー	形名	種類	品名
	NDG1451(w)	E's	片切2線式 0.5A-300Vオンピカ(低ワット用)
	NDG1453(w)	E's	3路2線式 0.5A-300Vオンピカ(低ワット用)
東芝ライテック	NDG1431(w)	E's	片切3線式 1.5A-100Vオンピカ
	WDG1493	WIDEI	片切・3路兼用2線式 0.5A-100Vオンピカ(低ワット用)
	WDG1431	WIDEI	片切3線式 1.5A-100Vオンピカ

●パイロットランプ付(オンピカタイプ)スイッチ

メーカー	形名	種類	品名
東芝ライテック	WDG1453	WIDEI	片切・3路兼用2線式 0.5A-100Vオンピカ(低ワット用)
東芝キャリア	SVF-52S(w)	WIDEI	片切・3路兼用2線式 0.5A-100Vオンピカ(低ワット用セット品)
東芝キャリア	SVF-72S(w)	WIDEI	片切・3路兼用2線式 0.5A-100Vオンピカ(低ワット用セット品)

●照明回路一体型パイロットランプ付(オンピカタイプ)運動スイッチ

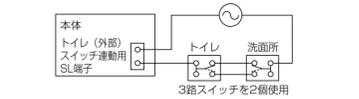
※適応機種はDVB-18SWs、18STsのみを推奨します。
DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズは本製品にトイレ残置運転機能をもってあります。

メーカー	形名	種類	品名
東芝ライテック	WDG1722L	WIDEI	換気扇運動回路 0.6A=100Vオンピカ(低ワット運動単回路可) 照明回路 3A=100V

●トイレ(外部)スイッチ用結線例

○2カ所ON/OFF

任意方向にスイッチを倒すとトイレ(外部)スイッチをON/OFFできます。



○照明同一回路

スイッチの定格は照明器具の消費電力に合わせて設定してください。



●照明同一回路(照明+運動スイッチを使用)
●トイレ/洗面所で照明を消した後、一定時間後(※)に換気扇の運転を止めることができます。
●1つのスイッチで換気と照明を同時にON/OFFできます。
※DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズのトイレ残置運転機能と運動スイッチを組み合わせて使用した場合、各々の設定時間の合計となります。
ただし、本製品に切り忘れ防止機能があるため最大で30分間となります。また、DVB-18SWs、18STsにはトイレ残置運転機能はありません。

リモコンコードの接続

- 9 付属のリモコンコードを本体側のリモコン用接続コードに接続します。
- 10 リモコンコードをリモコン取り付け位置まで配線します。

お願い

- コネクタはカチッとというまで確実に接続してください。

リモコンの取り付け

取り付け前の準備

- リモコン(別売品)
※DVB-18SWDs、18STDsにはDBC-18SSsが同梱されています。
- 準備するねじ
スイッチボックスに取り付ける場合 φ4×20L 血ねじ(標準タイプ: 3本、照明タイプ: 6本) 市販標準品
壁に取り付ける場合 φ4×35L 血タッピンねじ(4本) リモコン付属品
- リモコンコード(製品本体同梱品、有効長5m)
●リモコンコードの長さが足りない場合は、別売の応用部材「リモコンコード」DBC-18S(有効長10m)をご使用ください。また、製品本体同梱品のリモコンコードに接続して延長することはできません。
●本体側に約2cm余裕をもって配線してください。(本体側接続時に天井からコードを降ろすことがあります)

取り付け手順

- 1 2個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の2個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードを配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板をスイッチボックスに市販の血ねじ(3本)で固定します。

- 4 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。

お願い

- 血ねじを締めすぎないでください。リモコン取付板の角が浮いたり、ねじ穴部が割れる恐れがあります。
- コネクタはカチッとというまで確実に接続してください。

- 5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 壁に直接取り付けする場合(イラストはDBC-18SSsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁にφ25mmの穴をあけ、リモコンコードを配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板を付属の血タッピンねじ(φ4×35L、4本)で壁に固定します。
- 4 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従って接続します。
- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の血ねじ(6本)で固定します。
- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従って接続します。
- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の血ねじ(6本)で固定します。
- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従って接続します。
- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の血ねじ(6本)で固定します。
- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従って接続します。
- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の血ねじ(6本)で固定します。
- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従って接続します。
- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の血ねじ(6本)で固定します。
- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従って接続します。
- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の血ねじ(6本)で固定します。
- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 1 3個用スイッチボックスに取り付ける場合(イラストはDBC-18SSLsです) DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ: 別売 DBC-18SSLs DVB-18SWs、18STs

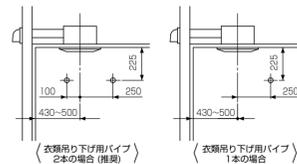
J 衣類吊り下げ用パイプの取り付け

右図の位置に市販の衣類吊り下げ用パイプを取り付けます。

- パイプを購入される時は必ず1本当たり4kg以上の重量に耐える不燃性および耐食性のもの入手してください。
- パイプの取り付け位置は右図を基準としてください。(基準の寸法以外で取り付けますと乾燥時間が長くなります。また基準の寸法より本体に近づけるとパイプが過熱し、やけどの原因になります。)
- 2本目の衣類吊り下げ用パイプを取り付けていたとくと、乾燥時間が短くなります。

お願い

- 2本目の衣類吊り下げ用パイプを取り付けていたとくと、乾燥時間が短くなります。



試運転および初めて電源を入れる場合

試運転の前に...もう一度、電源電線・リモコンコードの接続を確認して、AC100Vの分電盤ブレーカーを入れて試運転を行ってください。

電気工事が完了したら接続が間違っていないか確認して、製品本体の取扱説明書の使いかたを参照し、正常な運転ができるか、また、本体の取り付けが確実に振動・異音がないことを確認してください。

- 1 電源ブレーカーを入れます。(イラストはDBC-18SSsです) 取り付け後初めて電源を入れると、24時間換気の「標準」運転ランプが点滅します。●各運転モードのボタンを押すと、24時間換気の「標準」運転ランプが点灯に変わります。

●DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズは配管ダクトの圧力損失を計測するための調整運転を約30秒間自動的にに行います。
換気ファンが高速でまわり運転音が大きくなりますが、故障ではありません。調整運転終了後、各運転モードに切り替わります。

- 2 取扱説明書にしたがい、「24時間換気」「換気」「乾燥」「予備暖房」「涼風」が正常に運転するか確認します。

●24時間換気・換気 ... 本体カバーの吸込口から換気していることを確認してください。
●乾燥・予備暖房 ... 本体カバーの吹出グリルから温風が出ていることを確認してください。
●涼風 ... 本体カバーの吹出グリルから風が出ていることを確認してください。

●本製品には自己点検機能があり、運転ランプの点滅で異常内容を表示します。

表示	異常内容	処置
全てのランプが点滅(約1秒間)5回繰り返す	200V印加	100V電源を接続し、再度ブレーカーを入れてください。
入タイマーランプが点滅(DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズ)タイマー(1H)ランプが点滅(DVB-18SWs、18STs)	本体とリモコンの通信異常	リモコンコードとリモコンの接続を確認してください。
ボタンを押してもランプが点灯しない	リモコンコードの異常	リモコンコードとリモコンの接続、リモコンコードの断線を確認してください。

●製品本体の取扱説明書にもその他のエラーコードとその対応が記載されています。あわせて確認してください。

●処置をしても症状が変わらない場合は、電源を切ってお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

※DVB-18SWDsシリーズ、18STDsシリーズのみです。(DVB-18SWs、18STsにはありません。)

24時間換気風量の変更・設定を確認する

24時間換気風量の初期設定を変更・確認する場合は、次の手順で行います。

タイマー表示部

- 1 [風]と[風]を同時に3秒以上押しします。タイマー表示部が右図の表示で点滅します。
- 2 [換気]を押します。タイマー表示部の左側が「b」で点灯し、右側に現在の設定風量の表示が逆になります。
- 3 [風]または[風]を押すごとにタイマー表示部の右側が下表のように変わり、設定風量を変更されます。(下表は[風]を押した場合を示します。[風]を押した場合は、表示の変わる順序が逆になります。)
- 4 [停止]を押します。設定が終了し、タイマー表示部が点灯に変わり約3秒後に消灯します。 ※次回より変更された風量の表示が設定値として表示されます。

表 示	1	2	3	4	5	6	7
風量	DVB-18SWDsシリーズ	45	65	80	100	120	180
	DVB-18SWsシリーズ	45	65	80	100	120	140

※工場出荷時: 表示4

換気風量の設定を変更・確認する

換気風量の初期設定を変更・確認する場合は、次の手順で行います。

タイマー表示部

- 1 [風]と[風]を同時に3秒以上押しします。タイマー表示部が右図の表示で点滅します。
- 2 [換気]を押します。タイマー表示部の左側が「A」で点灯し、右側に現在の設定風量の表示が点滅します。
- 3 [風]または[風]を押すごとにタイマー表示部の右側が下表のように変わり、設定風量を変更されます。(下表は[風]を押した場合を示します。[風]を押した場合は、表示の変わる順序が逆になります。)
- 4 [停止]を押します。設定が終了し、タイマー表示部が点灯に変わり約3秒後に消灯します。 ※次回より変更された風量の表示が設定値として表示されます。

表 示	1	2
風量	DVB-18SWDsシリーズ	210
	DVB-18SWsシリーズ	190

※工場出荷時: 表示1

トイレ(外部)スイッチの残置運転時間の設定を変更・確認する

トイレ(外部)スイッチの残置運転時間の初期設定を変更・確認する場合は、次の手順で行います。

タイマー表示部

- 1 [風]と[風]を同時に3秒以上押しします。タイマー表示部が右図の表示で点滅します。
- 2 [換気]を押します。タイマー表示部の左側が「H」で点灯し、右側に現在の設定時間の表示が点滅します。
- 3 [風]または[風]を押すごとにタイマー表示部の右側が下表のように変わり、残置運転時間が変更されます。(下表は[風]を押した場合を示します。[風]を押した場合は、表示の変わる順序が逆になります。)
- 4 [停止]を押します。設定が終了し、タイマー表示部が点灯に変わり約3秒後に消灯します。 ※次回より変更された時間の表示が設定値として表示されます。

表示	0分	1分	3分	7分	15分
時間(残置時間なし)					

※工場出荷時: 表示(3分)

お知らせ...残置運転について

- トイレスイッチ「切」操作後も操作前の運転状態を一定時間継続する機能です。
- トイレスイッチの切り忘れ防止の為、トイレスイッチ「入」状態でも最大で15分+残置運転時間でトイレスイッチ「切」状態に運転状態が戻ります。運転表示ランプのトイレスイッチは「入」表示のままとなります。再度、トイレ換気を運転したい場合は、一旦、トイレスイッチを切って(2秒程度経過)からトイレスイッチを入れ直してください。